

3.2 ハード対策

(1) 国土交通省による対策

福岡県の支川整備に伴う流量増などに対応するため、庄司川排水機場のポンプ増設を実施する。また、庄司川合流点の水位低下のため、遠賀川水系河川整備計画に基づき遠賀川本川の河道掘削を行う。



図 3.2.1 国土交通省による事業概要

(2) 福岡県による対策

庄司川からの溢水氾濫を防止するため、庄司川の河川整備計画に位置づけされている堤防整備、河道掘削を行う。また、内水被害を軽減するため調節池の整備を行う。

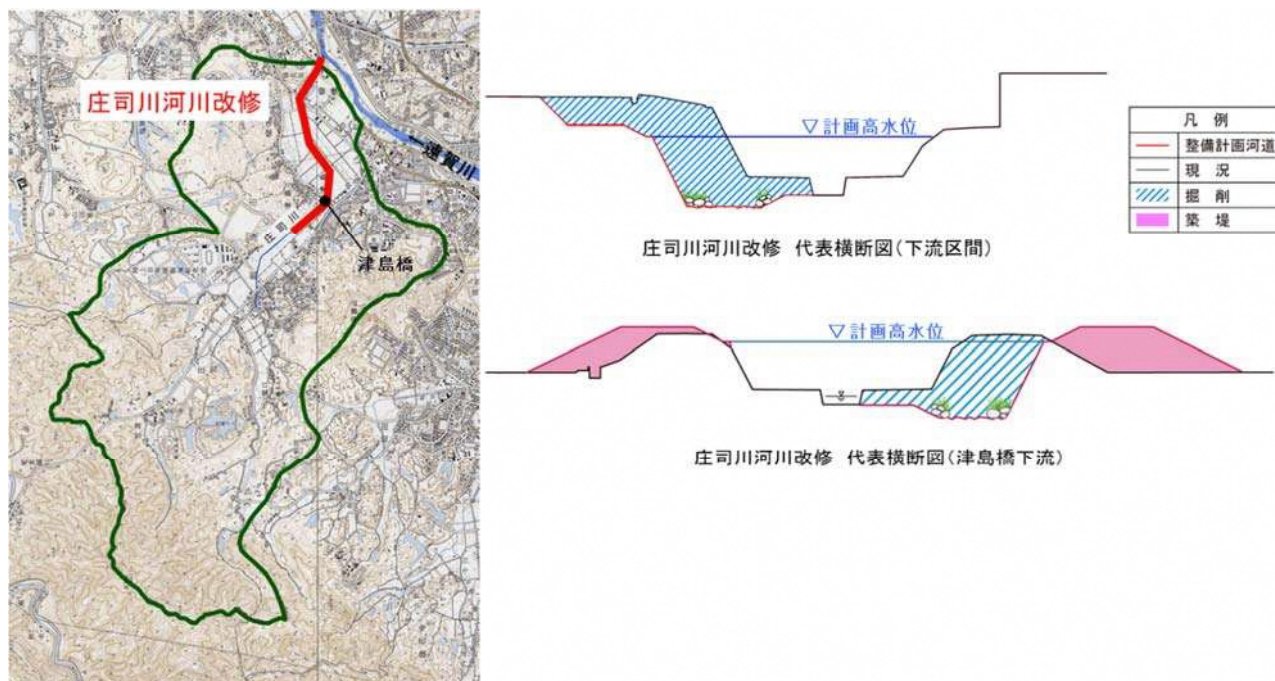


図 3.2.2 福岡県による事業概要

(3) 飯塚市による対策

庄司川からの逆流を防止するため、庄司川に合流する排水路にフラップゲートの設置を行う。また、個別に家屋の浸水防止対策を行う。



図 3.2.3 飯塚市による事業概要

3.3 維持管理

国土交通省、福岡県管理の河川管理施設の維持管理は、遠賀川水系河川整備計画に記載の「河川の維持管理の目的、種類及び施行の場所」の内容に基づき、常に良好な状態に保ち、施設の機能が十分に発揮されるよう、適切に実施する。

飯塚市の管理施設（河川、下水道施設及び農業用水路）の維持管理においても常に良好な状態を保ち、施設の機能が十分に発揮されるよう、適切に実施する。

このため、河川巡視・点検などにより河道や堤防・護岸などの河川管理施設、下水道施設の状況を把握し、洪水時に安全性が確保できるように努める。